

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区北砂5-1-26
施設名	もりのなかま保育園北砂園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

日常にある物や事象に対する探求

〈テーマの設定理由〉

子どもたちが日々の活動の中で見たり触れたりし、興味が湧いてくる事象に対して特定の一つに焦点を当てることにより、その物や事象を多角的な視点から捉え、より好奇心が芽生え探求することを楽しむことができる。今回このテーマを選んだ理由は、そこに子ども一人ひとりの興味関心を反映させることで、子どもの好奇心を受け止め、引き出し、新たな発見に導けると考えたため。

2 活動スケジュール

5月……「日常にある物や事象に対する探求」～風船～
6月……「日常にある物や事象に対する探求」～土と砂～
7月……「日常にある物や事象に対する探求」～ウォーターマット～
8月……「日常にある物や事象に対する探求」～水の冒険～
9月……「日常にある物や事象に対する探求」～布～
10月……「日常にある物や事象に対する探求」～光～
11月……「日常にある物や事象に対する探求」～磁石～
12月……「日常にある物や事象に対する探求」～トイレットペーパー～
1月……「日常にある物や事象に対する探求」～音～
2月……「日常にある物や事象に対する探求」～ゴム～
3月……「日常にある物や事象に対する探求」～におい～

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

子どもたちが興味を持った身近な素材・・・小麦粉・片栗粉・酢・ティーバック・氷等
それぞれが活動に取り組めるような道具・・・トレー・ボウル・マジック・カップ
興味を深めるための道具・・・ライトテーブル
活動がしやすく、子どもたちの言葉や気づきを聞き取りやすい少人数の環境構成

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

子どもたちがこの活動に興味を持てるように素材や道具を変え、毎回出てくるものに目を輝かせながら「これはどうなるんだろう」「自分でやってみたい!」と思えるような環境構成を考え、活動を進めた。触って感触を楽しむもの、観察するもの、匂いを嗅ぐものなど様々なテーマに沿って進めていき、保護者には連絡帳や口頭の他にも玄関でその日のうちにドキュメンテーションを作成して子どもたちの様子を共有した。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

様々なテーマでの活動の中で、自分の手で思いきり触ったり混ぜたりこすったり描いてみたりとたくさんの経験をする事によって、どのような結果になったとしても「〇〇ちゃんのはこうなったよ!」「すごいね!」というような自信があふれるような反応や表情を見せ、全員が積極的に活動に参加できていた。また、保育士もグループの中に一人配置につくことにより子どもが安心したり困ったことがあれば声を掛けやすい雰囲気作りをしたりと子どもたちが活動に集中できるようにサポートするようにした。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

こどもが無から本位的に行うだけではなく、保育者が基礎的な方向性を示すことで、停滞なくそれぞれの感性の下、活動を発展させていくことが出来ていた。

子どもの動向を見守ることと共に、ちょっとしたきっかけを作ることも状況により行うことが、こどもの探求心を途絶えさせないために必要である。